

適用規格					
定格	使用温度範囲	-40℃ ~ +90℃ (95%RH MAX)	保存温度範囲	-40℃ ~ +50℃ (95%RH MAX)	
	電力	— W	特性インピーダンス	50Ω (0 ~ 1.6 GHz)	
	特殊性	—	適合ケーブル	G0-6F, FH-SB 日立電線(株)製	
<b>性能</b>					
	項目	試験方法	規格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		—	—
電気的性能	接触抵抗	100 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コネクタ 3 mΩ以下 外部コネクタ 3 mΩ以下	○	○
	絶縁抵抗	DC 500Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	○
	耐電圧	AC1000Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	電圧定在波比	周波数 0.045 ~ 1.6 GHzにて測定する。	VSWR 1.3 以下	○	—
	挿入損失	周波数 ~ GHzにて測定する。	dB以下	—	—
機械的性能	単体挿抜力	φ1.32 <sup>0</sup> <sub>-0.005</sub> の鋼製ピンで測定する。	差込力 N以下	—	—
	引抜力 1 N以上		○	○	
	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	差込力 N以下 引抜力 N以上	—	—
	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 中心コネクタ 10 mΩ以下 外部コネクタ 10 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10 ~ 500 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 98 m/s <sup>2</sup> で 3 軸方向各 10 サイクル 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性			加速度 490 m/s <sup>2</sup> , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。	○
ケーブルクランプ部の引っ張り強度	30 N以下の引張力をケーブル軸に加える。	① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ部の破損がないこと。	○	—	
環境的性能	温湿度サイクルの耐湿性	温度 +25 ~ +65 °C, 湿度 80 ~ 96 %中に 10 サイクル(240 時間) 放置する。	① 絶縁抵抗: 100 MΩ以上(高湿時) ② 絶縁抵抗: 1000 MΩ以上(乾燥時) ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → — → +85 → — °C 時間 30 → 3 → 30 → 3 分 を 5 サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	はなはだしい腐食がないこと。	○	—
△	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
0					
備考			承認	KY.SHIMIZU	06.04.12
RoHS適合品			検図	TO.KATAYAMA	06.04.12
			担当	MT.KANEKO	06.04.11
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。			製図	YK.SUGIYAMA	06.04.10
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番 SLC4-136174-41		
HRS	製品規格表		製品名 BNC-BPJ-FHSB(41)		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード CL302-0390-4-41		
					△ 1/1